

生徒会フロログ

平成25年2月10日（月）

土曜日は、予報通りの雪となりました。雪が積もっていたり、道路が凍結したり、登下校が非常に不安な状態にあります。私たちのために、先生方や地域の方が雪かきをしてくださったり、見回ってくださったりしています。私たちのためにやって下さることに感謝しましょう。

話は変わりますが、明日は何の日なのか知っていますか？ そうです、明日は「建国記念の日」です。かつて、2月11日は「紀元節」でありました。紀元節とは、「日本書紀」が伝える初代天皇である神武天皇の即位として、明治5年に制定されました。紀元節が廃止されたのち、9回の提出と廃案を繰り返すと、昭和41年、1966年6月25日に「建国記念の日」として成立しました。

平成25年2月12日（水）

8日の開会式から始まったソチオリンピックは、毎日、様々な種目が行われています。日本人選手も世界の強豪を相手にメダル獲得を果たすため、全力で戦っている様子が、テレビで見ても伝わってきますね。その、手に汗握る白熱した戦いに心を動かされた人もいるのではないのでしょうか。

2月10日時点で、残念ながら、メダル獲得を果たした日本人選手はいませんでした。しかし、メダルをとれないかもしれないと分かっても、あきらめてしまう選手もいません。メダルはとれなくても、自分の記録を超えるという個人の目標を見失わず、全力を出し切っています。終わってからのコメントを言う場面で、悔し涙を流した人もいますが、ほとんどの選手は「自分の全力を出し切れてよかった」などと、達成感を味わっていたようです。大切なのは、結果にだけこだわのではなく、己との戦いを勝ち取ることなのだと思ひました。

1・2年生は期末テスト、3年生は入試が少しずつ近づいてきています。結果はもちろん大事ですが、最終的には、本当に大事なものは、自分がどれだけ実力を発揮できたかということだと思います。実力が十分に発揮できた分、結果もついてくると思うので、本番に向けて、それぞれしっかりと準備していきましょう。

平成25年2月13日（木）

先日2月12日、日本で初のメダル獲得者が出ました。みなさんはもうお分かりですよね？ スノーボード男子ハーフパイプの平野選手と平岡選手です。この競技は、たくさんの技をきめていき、1人2本滑れます。その結果の良いほうに適応されます。平野選手は、最高6mも飛び、地上からの高さは、12mとなります。15歳の平野選手が銀メダル、18歳の平岡選手が銅メダルと表彰台の両脇に、2人の日本の少年がたちました。この姿を見たとき、2人の笑顔は輝いていて、プレッシャーや壁を乗り越えた後には、必ず得られるものがあることがわかりました。これから日本のスノーボードを、この2人がよきライバルとして、引っ張って行ってくれると思います。

今週末、また雪が降るとのよほうが出ています。前回の雪の時に不便だったものの準備をしておくとい良いでしょう。寒くなることが予想されるので、体調管理にも気を使いましょう。

平成25年2月14日（金）

連日行われているソチオリンピック。2月13日時点で、日本は、3つのメダルを獲得することができました。ノルディック複合男子ノーマルヒル個人に出場し、見事銀メダルを獲得した渡部暁斗選手ですが、彼には3つ下の弟、善斗選手がいます。小さい時から今まで、よきライバルとして切磋琢磨してきたことが、3度目のオリンピックに挑戦する気持ちとなり、このような結果に結びついたのだといえるでしょう。勉強や部活もそうですが、お互いに高め合うことのできる友人がいるというのは、本当に大切です。

話は変わりますが、1年生のみなさんは、今日5時間目からPTA部会があります。礼儀はもちろんですが、東中生として、恥ずかしくない態度で臨みましょう。